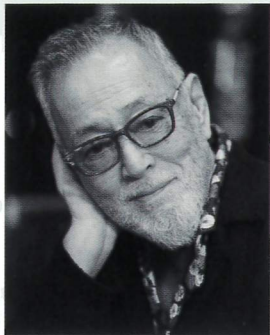


等伯

—反骨の画聖—



藝ごとは
貴くもあり
浅ましくもあり

演出
浅田



赤羽秀之



中山 研



本郷 弦



川村 進



円地晶子



朝日 望



島田 仁



中山正太郎

ほか無名塾

無名塾
2026

国宝「松林図屏風」——、圧倒的な画力と稀有な表現力で見る者の心を捉えて放さない、この「松林図屏風」を描いた人物こそが、謎多き絵師、長谷川等伯である。

1539年、安土桃山、未だ戦乱の世。能登半島・七尾の染物屋に生まれ、その才能を絵仏師として開花させた一人の男は、やがて京都へ上り、絵師として「等伯」の画号を名乗る。当時、画壇に君臨した狩野派の圧力に屈することなく、等伯は、我が子や弟子たちと共に、京の名刹の襖絵や天井画を次々に手掛けるまでの活躍を見せる。下剋上の世、不安定な政情に翻弄されながらも、彼は、その筆の力で真に優れた絵を追い求め、己の魂を燃やし続けた。

裏い掛かる苛酷な運命に抗いつつ、等伯はなぜ、あの静謐な「松林図屏風」を描いたのか——。反骨の画聖、長谷川等伯の生涯を、能登に深い縁を持つ無名塾が総力で描き出します。



初演舞台より

スタッフ 上演台本:岡山 矢 美術:林 清人 照明:遠藤正義 効果:山岸和郎 音楽:日高哲英 衣裳:竹林正人 かつら:斎藤三郎 舞台監督:中村信一
協力:(公財)演劇のまち振興事業団 製作:無名塾 宣伝(デザイン):市川きよあき イラスト:伊野孝行 写真:石川 純 文:角田美和) Nakadai Photograph by Katsuo Hanzawa

5・6月例会

オペラシアター
こんにゃく座
さよなら、
ドン・キホーテ



ドン・キホーテになることを夢みる少女ベル。馬のロシナンテとサンチョと共に冒険の旅が始まる。鄭儀信の人間の本质に迫る台本と萩京子の変幻自在の作曲による、ほかに類を見ない舞台！

5/16(土) 18:30 サンビームやない

5/17(日) 16:30 周南市文化会館

8・9月例会

劇団 青年座
金閣炎上



昭和25年金閣寺は紅蓮色の炎に包まれた。水上勉が自らの実体験と重ね合わせて描いた名作小説を作者自身が戯曲化。四十年の時を超えて、青年座に新たな『金閣炎上』が誕生する。

8/1(土) 18:30 サンビームやない

8/2(日) 18:30 周南市文化会館

8/3(月) 13:00 //